

全国学力・学習状況調査の結果について

残暑の候、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校教育に対し、ご理解・ご支援をいただきありがとうございます。

さて、4月に全国の6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。今回の結果から把握した各児童の学習や生活における実態をもとに、今後の指導内容や指導方法の改善・充実を図ってまいります。なお、これらの内容については、学校ホームページにも掲載します。

Ⅰ 教科に関する調査

国語	本校平均正答率	69%	広島県平均正答率	69%	全国平均正答	66.8%
----	---------	-----	----------	-----	--------	-------

【重点項目】

- ① 目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- ② 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。

【指導方法の工夫改善】

〈①について〉

- ・自分の考えと、その理由を事例との関係に着目させ、文章の組み立てメモに整理させる。
- ・自分の考えを書き表すとき、自分の考えの立場を明確にできるよう（賛成・反対など）選択肢や穴あきのあるワークシートを使って指導する。
- ・構成メモをもとに、目的や意図に応じて（序論・本論・結論）伝えたいことを明確にして書くよう指導する。
- ・「はじめに」「つぎに」「それから」「さいごに」などの言葉の使い方や順序に気を付けて文章を整理させる。
- ・「なぜなら」「その理由は」「～ためである」などの表現を使って理由を書くよう指導する。

〈②について〉

- ・重要な語句や文に線を引いたり、印をつけたりするなど、必要な情報を見つけさせ、要約の手掛かりになるよう指導する。
- ・筆者の文章と、複数の資料を関連付けて読み、本文と関係する情報に線や印をつけ、キーワードを指定しながら整理させる。

【重点課題】

- ① 数の表し方の仕組み、数量の関係や問題場面の数量の関係などに着目してとらえ、根拠をもとに筋道を立てて考えたり、統合的・発展的に考えたりすること。
- ② 図形を構成する要素、それらの位置関係や図形間の関係などに着目してとらえ、根拠をもとに筋道を立てて考えたり、統合的・発展的に考えたりすること。

【指導方法の工夫改善】

〈①について〉

- ・ 半分は、もとの大きさの $1/2$ であることを、様々な具体物を使って示す。
- ・ 具体物を操作する活動を通して、分数や小数の大きさの感覚を養う。
- ・ 分数と小数の大きさの相互関係についてテープ図などを用いて指導する。
- ・ テープを切る、折り紙を折るなど実際に等分して、量感をつかませる。
- ・ 0 から 1 までは何等分されているかに着目させ、単位分数をとらえさせる。
- ・ テープ図や数直線を使って、単位分数のいくつ分かを考えさせる。

〈②について〉

- ・ 具体物を操作し、形の特徴・向き・数などに気付かせる。また、点つなぎや物差しの正しい使い方を指導する。
- ・ 具体物を使って、辺や頂点、直角、面といった図形を構成する要素に着目して理解させる。
- ・ 図形を分けたり、付け加えたりして、既習の図形に変形させる活動を行い、どのように分けたのか・なぜ分けたのか根拠を明らかにしてやり方を説明させる。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

本校結果と全国結果を比較した場合、次の事項は、特に本校児童のプラス面(○)、マイナス面(●)と言えます。

- | | |
|---|---------------------|
| ○これまでの授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、一日に一回以上の授業で使用しましたか。 | (本校 90.8% 全国 48.1%) |
| ○自分にはよいところがあると思いますか。 | (本校 90.8% 全国 86.9%) |
| ○分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫できていますか。 | (本校 91.9% 全国 81.7%) |
| ●地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。 | (本校 72.4% 全国 81.3%) |

【課題に対応した改善する指導内容及び方法】

特別活動、体験活動、道徳教育など学校教育全体を通じて、人と関わり合うこと・話し合うことで豊かな心を育む取組を行う。また、総合的な学習の時間を中心に、児童が地域と関わる場を設定し、学んだことを発表するなどして自分たちが地域に貢献できていることを実感させる。